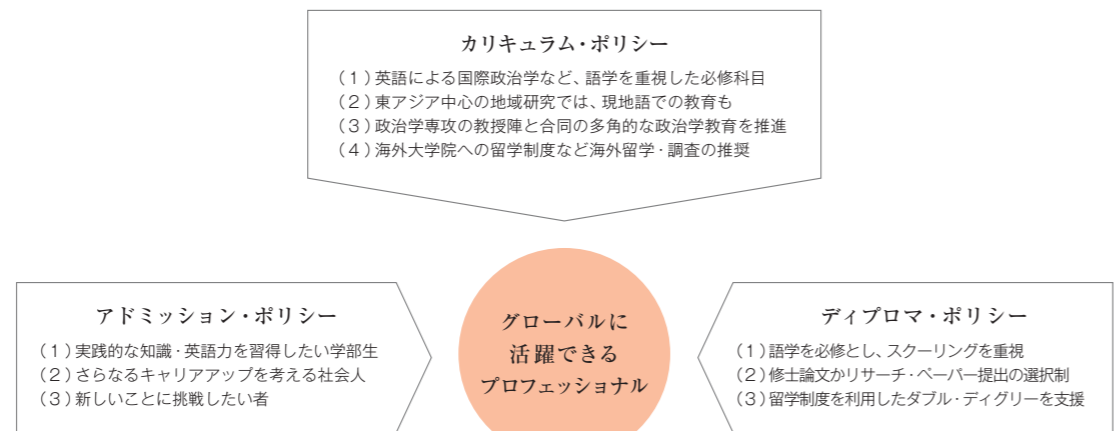


地球共生社会の実現をリードする スペシャリストを養成する

世界の至るところで、グローバリゼーション（世界標準の伝播）とローカリゼーション（個別特殊性の発揮）のせめぎあいや対立が見られます。新しい時代には、これに見合う国際協力とコミュニケーションの有様に対応することが求められます。国際平和国家を目指すわが国にとって、地球規模問題群（グローバル・イシュー）への政策対応能力と、諸分野における専門性に裏打ちされた構想力・交渉力・実行力を持つ人材の育成は緊急課題です。本研究科では、こうした時代の要請に応える、世界政治、国際開発、地球環境、平和構築、人間の安全保障、アジアのガバナンス（政治と外交）等の諸分野（グローバル・ガバナンスおよびアジア国際政治）の研究教育実績と専任教員を有しています。これまでの蓄積をさらに発展させながら、「国際政治学専攻」(Graduate School of Global and Asian Politics:G-GAP)においては、地球レベルで通用する高度専門職業人の養成を目指します。



専任教員	専攻	研究テーマ	主な担当科目
浅見 靖仁 教授	比較政治学、開発学、東南アジア研究	東南アジアの政治経済、中進国の労働問題、アジア諸国の社会福祉制度	対外政策研究（ロシア・中央アジア）1/2、国際地域研究（東南アジア）1/2
権 鎬淵 教授	平和軍事研究、政軍関係	日本の防衛政策、日本の対外政策、東北アジアの安全保障問題	国際地域研究（朝鮮半島）1/2
坂根 徹 教授	国際公共政策、国連研究、行政学等	国際公共政策、国連システムの調達行政、国際行政等	国際公共政策研究1、国際公共調達研究1/2
下斗米 伸夫 教授	ロシア、CIS政治、比較政治、グローバル政治史、冷戦史	東アジア冷戦とロシア	国際政治史研究1/2
萩谷 順 教授	現代ドイツ政治、マスコミ論	ドイツと日本の政治・社会システムの比較研究。マスコミと世論形成	グローバル・メディア研究
菱田 雅晴 教授	政治社会学、現代中国論	中国研究（国家・社会論、中南海研究、廉政研究）	対外政策研究（中国）1/2、国際地域研究（中国）1/2、グローバル政治経済特別セミナー
森 聡 教授	国際政治、アメリカ外交	アメリカのアジア戦略、東アジアにおける安全保障、国際システムにおける「平和的変更」の可能性と限界	国際政治理論、戦略と政策、アメリカ外交史
弓削 昭子 教授	国連の開発活動と平和構築	国連システムにおける開発活動と平和構築	国連・平和構築研究1（国連組織）、国連・平和構築研究2（平和構築）、JICA 寄付講座、国際機関講座、総合講座・国際協力講座
福田 円 教授	国際政治、中国外交、中台関係	中国と台湾の関係史および現状分析、中国外交と国際環境の相互作用	アジア比較政治、アジア統合論
本多 美樹 教授	国際関係論、国際機構論、伝統的・非伝統的安全保障研究、国連研究	国際社会による平和のための協働と確執、アジア太平洋地域の安全保障	地球規模課題政策研究、非伝統的安全保障研究、外交総合講座
宮下 雄一郎 教授	国際関係論、国際関係史、戦争史	フランス外交史、日仏関係史、ヨーロッパ統合論	国際地域研究（ヨーロッパ）1/2

[2018年度] ※年度により授業を持たない場合があります。

研究室紹介

森 聡 教授



現代国際秩序の変容と 大国間政治に関する研究

ジオポリティクスと グローバル化の生み出す 国際政治の動態

国際政治学における国際秩序論においては、アメリカをはじめとする市場経済型民主主義国家群を中核とする諸国家が、紛争の平和的解決、自由貿易、市場経済、人権、民主主義などといったリベラルな諸規範を遵守・推進してきたことにより、リベラル・ヒエラルキーが形成されてきたとされる。しかし、グローバル金融・経済危機を契機として、特に2014年以降はこの国際秩序が徐々に劣化しつつあると言われる。本研究室では、こうした国際秩序に関する一般的な理解がはたしてどこまで妥当なのか、リベラル・ヒエラルキーが劣化することの意味とその原因を問い、米中露といった大国の戦略や、その相互作用として展開する国際政治を検証する。

学生・修了生の声

松永 和成

修士課程 2015年度修了 / 株式会社日本リサーチセンター



海外市場調査員として世界中を飛び回りたい。
海外で通用するリサーチャーになることを目標に
国際政治学を専攻

専攻の魅力

教授との距離が近く、論文の指導が密に行われるところが魅力だと思う。英語で行われる講義はディスカッション含め実践的であり、将来グローバルに働くうえでの力になる。海外特別奨学金制度を利用し1年間英国の大学院で学ぶ貴重な機会を頂いた。

将来の目標

現在海外市場調査をアシスタントの立場で担当している。今後、海外市場調査を主担当として成功に導くことが目の目標である。将来は新興国諸国を対象に新規案件を増やし、世界中を飛び回りたい。ゆくゆくは会社ではなく、自分の名前で仕事を任せられるようリサーチャーになりたい。

研究テーマ

グローバルヘルスガバナンスに関する一考察
—ビルゲイツ財団の事業活動分析

修士課程

- 基礎理論科目
国際政治理論(2)
アメリカ外交史(2)
政治理論研究1/2(各2)
国際政治史研究1/2(各2)
アジア国際政治史(2)
国際公共政策研究1/2(各2)
国際協力政策研究1/2(各2)
非伝統的安全保障研究(2)

- 国際政治専門英語科目
Academic Reading(初級)(2)
Academic Reading(上級)(2)
Thesis Writing(初級)(2)
Thesis Writing(上級)(2)
Presentation & Debate(初級)(2)
Presentation & Debate(上級)(2)

- グローバル・イシュー科目
国連・平和構築研究1(国連組織)(2)
国連・平和構築研究2(平和構築)(2)
国際公共調達研究1/2(各2)
国際情勢分析論1/2(各2)
地球環境政治論(2)
持続可能な開発のための教育(ESD)(2)
市民社会組織ネットワーク論(2)
グローバル・メディア研究(2)
国際金融政策論(2)
国際食糧資源エネルギー政策(2)
グローバル・ビジネス研究(2)
プロジェクト評価手法(2)
国際開発プロジェクト・マネジメント手法(2)
地球規模課題政策研究(2)

- アジア国際政治科目
アジア比較政治(2)
アジア統合論(2)
アジア平和軍事研究(2)
戦略と政策(2)
アメリカの対外政策(2)
対外政策研究(中国)1/2(各2)
対外政策研究(朝鮮半島)1/2(各2)
対外政策研究(ロシア・中央アジア)1/2(各2)
国際地域研究(中国)1/2(各2)
国際地域研究(朝鮮半島)1/2(各2)
国際地域研究(ロシア・中央アジア)1/2(各2)
国際地域研究(東南アジア)1/2(各2)
国際地域研究(ヨーロッパ)1/2(各2)

- 実践講座科目
グローバル政治経済特別セミナー(2)
JICA 寄付講座(2)
国際機関講座(2)
総合講座・外交総合講座(2)
総合講座・国際協力講座(2)
海外大学院留学指導講座(2)
国連大学プログラム(4)
グローバル・インターンシップ(4)
海外フィールドワークプログラム(4)
国際政治特別セミナー(2)

[2018年度] ※開講科目は年度により異なります。() = 単位数